

2023年5月8日

報道関係者各位

福井コンピュータ株式会社

クラウドサービス「CIMPHONY Plus」がアップデート！ 2023年5月29日（月）より提供開始

～米ベントレー・システムズ社の3D技術を活用し“BIM/CIM原則適用”を支援する機能を強化～

建設業向けCADメーカーの福井コンピュータ株式会社（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：杉田 直）では、工事現場データの統合管理を支援するクラウドサービス「CIMPHONY Plus」において、ベントレー・システムズ社（米国：<https://www.bentley.com/>）との戦略的パートナーシップ締結によるデジタル技術を活用し、BIM/CIM[※]原則適用を支援する機能を強化したアップデート版を、2023年5月29日（月）より提供開始します。

国土交通省では、インフラ分野のDX推進の一環として、令和5年度より小規模工事を除く全ての業務・工事におけるBIM/CIM原則適用を掲げており、今後は業務・工事における3Dモデル運用の更なる加速が見込まれます。

今回のアップデートでは、ベントレー・システムズ社のiTwinプラットフォームを活用した3Dモデルビューアを搭載し、WEBブラウザ上で属性や階層が付与された3Dモデル（BIM/CIMモデル）を詳細かつ手軽に扱うことができるようになりました。また、これと併せて従来の機能に対しても様々な改良・強化を行い、デジタルツインでの施工管理の利便性が飛躍的に向上しました。これら3D及びデジタルツインソリューションの導入・活用により、建設業の生産性向上、働き方改革、DX普及促進を後押ししてまいります。

※：Building/Construction Information Modeling, Management の略で、建築・建設ライフサイクル全体でモデルに蓄積された情報を活用するワークフローの概念。

【CIMPHONY Plus アップデートの概要】

- **3D（BIM/CIM）モデル環境基盤の強化**
 - 3Dモデルの各種ファイル形式に対応
 - 高度な3Dモデル表示、活用
- **従来機能の改良、強化**
 - 現場管理の改良による利便性向上
 - 運用状況が一目でわかるダッシュボード
 - 点群データ活用機能の強化
 - アクセス権限や履歴情報の詳細設定

※詳細は次頁参照ください。



（出典元：「荒川第二・三調節池事業」(関東地方整備局)

(https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/torikumi/i_construction/bimcim.htm を加工して作成))

【リリース日】 2023年5月29日（月）

【価格】 Standardプラン：年額 ¥36,000～（税別）

Professionalプラン：年額 ¥216,000～（税別）※1現場単位の月額料金設定もあります。

【本件に関するお問合せ】 福井コンピュータ株式会社 事業本部 営業部 営業推進課 担当：牧野
福井県坂井市丸岡町磯部福庄 5-6 HP：<https://const.fukuicompu.co.jp/>
Tel：0776-67-8860 問い合わせフォーム：<https://hd.fukuicompu.co.jp/contact/general.php>

【CIMPHONY Plus 新機能】

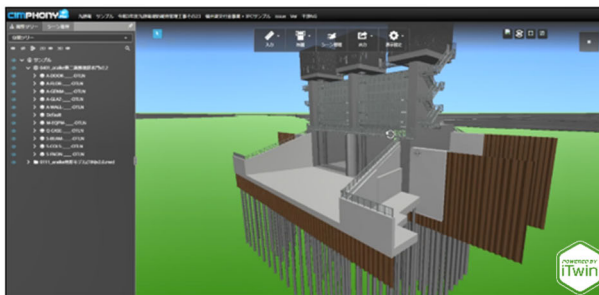
3D (BIM/CIM) モデル環境基盤の強化

● 3D モデルのファイル形式対応を大幅拡充

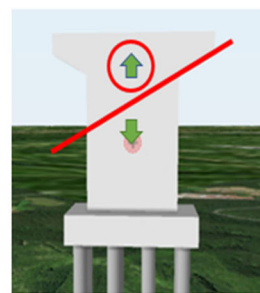
- BIM/CIM 業務における 3D データの納品形式について、互換性の問題などから、各社製品のオリジナルファイル形式の納品が認められている。今回、各ファイル形式への対応を図ることで、柔軟な運用をサポートします。
- 対応形式：従来の ifc/skp/dwg/dxf に加え、新たに nwc/nwd/rvt/dgn/fbx/obj に対応。これらを ifc 形式で出力することも可能になります。

● ベントレー・システムズ社の iTwin プラットフォームを活用した、高度な 3D モデル表示・活用

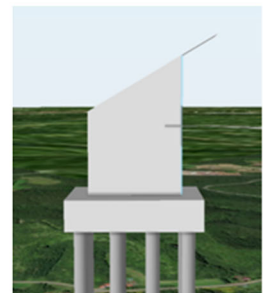
- 3D モデルの詳細な表示・出力
 - ◇ ブラウザ上で属性や階層が付与された 3D モデルの表示・確認が可能です。また様々な 3D モデルデータを IFC 形式にて出力が可能になります。
- モデル断面
 - ◇ 統合モデル内で、橋梁モデルと地形モデルのクリアランス確認や、既設道路と構造物との離隔確認など、BIM/CIM 工事における義務項目の「施工計画の検討補助」、推奨項目の「現場条件の確認」に対応できます。
- iTwin プラットフォームについて
 - ◇ <https://www.bentley.com/software/itwin-platform/>



● 3Dモデル (BIM/CIMモデル) の属性や階層ごとのビューイングが可能。



● 3Dモデルの断面も容易に確認。



(出典元：「荒川第二・三調節池事業」(関東地方整備局) (https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/torikumi/i_construction/bimcim.htm) を加工して作成))

従来機能の改良、強化

● 現場管理の改良による利便性向上

- 現場管理の煩雑化を防ぐ機能として、工種や発注者、担当者、年度別などの属性別に、色分けやグルーピング機能を追加。MAP 上や一覧でも非常に管理がしやすくなりました。
- MAP 上や一覧で、各現場の工期に対する進捗や、現場に参加する人数、ファイル数、データ量などを確認できるようになりました。
- その他、現場への複数人一括招待や、現場からの退出の簡素化など、より運用しやすいように改良しています。



● 項目別に色分けし管理がしやすくなりました。



● 進捗状況やデータ容量などがひと目でわかる。

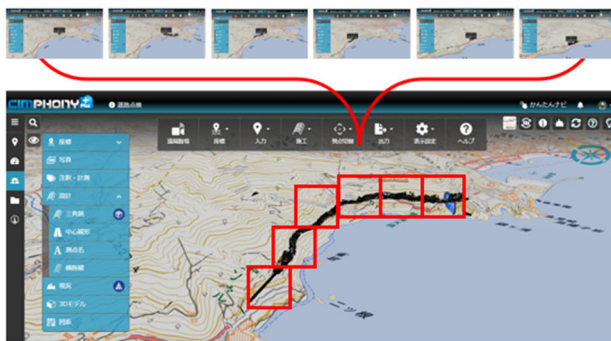
● 運用状況が一目でわかるダッシュボード

- 各現場における各種情報（現場・工事名／時間・週間天気／登録データ容量・内訳・履歴・処理状況／現場参加者内訳・アクセス状況）をグラフィカルに一覧表示したダッシュボードを新設。運用状況が一目で確認できます。

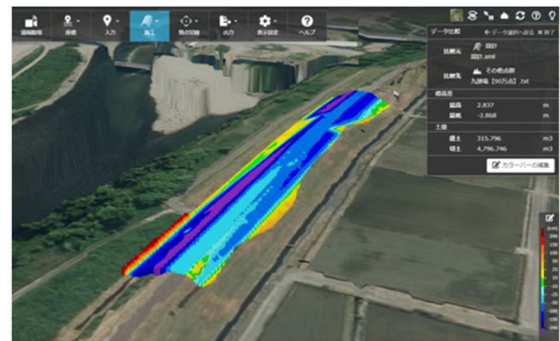


● 点群データ活用機能の強化

- 点群表示は、タイムラインで日時指定した期間のみ表示することで進捗状態を管理します。今回タイムラインを無視して任意の点群を表示させる機能が追加され、広範囲の点群や、工事前後の点群を重ねて表示するなど、より自由な運用を可能にしています。
- 点群と設計データの比較ヒートマップも、タイムライン上からの対象データ選択から、ダイレクトに対象データの選択が可能になりなど、利便性向上を図っております。



- タイムラインを無視した点群表示が可能。



- 点群と設計データの比較も容易に。

(出典元：静岡県 CC BY 4.0/ODbL)

● アクセス権限や履歴情報の詳細設定

- フォルダ単位でのアクセス権設定が可能になり、作業中のデータを他社に見せないようにしておくなどの対応が可能になります。
- ファイルごとに履歴情報が保持できます。コメントと共にファイルの履歴を管理することができます。（共有／設計／点群／3Dモデル／図面／オルソ画像）



- 3Dモデル（BIM/CIMモデル）の属性や階層ごとのビューイングが可能。

Ver.	登録者	登録日時	変更履歴コメント
3	福井太郎	2023/01/23 19:01:09	再度差し替えました
2	福井次郎	2023/01/23 19:00:57	差し替えました
1	福井一郎	2022/11/21 18:09:17	

- 変更履歴の保持。

以上